



## 編集雑記

## 既刊案内

(特集・主要記事)

### [10月号]

◎**特別インタビュー** 眞柄泰基氏が目指す水道のこれから ～日本オゾン協会・水を語る会・インドネシアの水道プロジェクトを考える会会長を継続、給水工事技術振興財団理事長に就任～水道ネットワーク通信 有村源介 ◎**シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.11** 東京大学 先端科学技術研究センター准教授 小熊久美子氏を訪ねて～大学院都市工学専攻 都市水システム研究室 兼担～世界の衛生確保へ誰1人取り残さない…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎建設業の人材確保・育成に向けた概算要求事項の概要を公表します…国土交通省 ◎平成28年度における住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策の実施状況について…国土交通省 ◎建設工事における適正な工期設定等のためのガイドライン…建設業の働き方改革に関する関係府庁連絡会議 ◎住宅宿泊事業に伴う「マンション標準管理規約」の改正について…国土交通省 ◎災害時の都市サービス継続に関する国際標準の検討が始まります～災害時の電力供給停止がもたらす影響をいかに最小限に抑えるか…経済産業省 ◎環境経済観測調査(環境短観)平成29年6月調査結果について…環境省 ◎**明日への道標** 鹿鳴館から丸の内へ～ジョサイア・コンドルの東京～…(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎**東京ブラリルポ** 門前仲町の富岡八幡宮と深川不動堂…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎**トピックス** トイレブース工事で特別研修…(株)岡本 ◎**「LaCoon」** 新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎病院の空調衛生設備配管における管種選定動向(第1回)…配管システム協会 南宗庵 ◎新・撮った写真が5万枚!?…IDE研究所いこうじ ◎建築着工統計[2017年7月]…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

### [11月号]

◎**シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.12** 立命館大学理工学部 環境システム工学科准教授 佐藤圭輔氏を訪ねて～旭川高専から三大学を歩き立命館に至る道程～流域圏の物質移動を追求し環境政策を提案する…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎**公的職業訓練のロゴマークが決定…厚生労働省** ◎**「ロボット技術の介護利用における重点分野」を改訂…厚生労働省** ◎**新たな循環型社会形成推進基本計画の策定のための具体的な指針…中央環境審議会循環型社会部** ◎平成30年度概算要求時における環境保全経費のとりまとめ…環境省 ◎1級管工事施工管理技術検定試験「学科試験」合格者の発表…国土交通省 ◎**「バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会」報告書を公表…国土交通省** ◎**「水生生物による水質評価法マニュアル」及び「河川生物の絵解き検索」の公表について…環境省** ◎**防災公園に関するガイドラインを増補改訂…国土技術政策総合研究所** ◎**家電リサイクル法の施行状況及び家電メーカー各社による家電リサイクル実績をまとめました…経済産業省** ◎**「明日への道標」** 未来を見て明日を知る～井深 大 ソニーのモルモット精神～…(株)日本設備工業新聞社代表取締役社長 高倉克也 ◎**「創立70周年を迎えて」** 技術力・商品力で成長路線を邁進…積水化学工業(株)環境・ライフラインカンパニー 常務執行役員 経営企画部長 西村 章 ◎**東京ブラリルポ** 小石川植物園を訪ねて…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎病院の空調衛生設備配管における管種選定動向(第2回)…配管システム協会 南宗庵 ◎一般社団法人日本設備設計事務所協会連合会への移行改組について…(一社)日本設備設計事務所協会連合会 会長 西田能行 ◎**トピックス** トイレブース工事で特別研修…(株)岡本 ◎**「LaCoon」** 新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎新・撮った写真が5万枚!?…IDE研究所いこうじ ◎建築着工統計[2017年8月]…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

引退を表明していたアニメ映画の巨匠・宮崎駿が実は新作を準備していると打ち明けた。題名は「君たちはどう生きるか」。吉野源三郎が1937年に上梓した同名の児童書をモチーフにするという。今年8月に羽賀翔一による漫画版が発行され、約2カ月で33万部を突破する話題作となった。

原作者の吉野は東京帝国大学哲学科を卒業して『路傍の石』の作家・山本有三の企画による日本少国民文庫の編集者となる。軍国主義が台頭するなかで構想された対話形式の同書はその最終巻として刊行された。政治学者の丸山眞男は岩波文庫版の解説でたんなる道徳書ではなく社会科学的な認識のもとに戦時の全体主義に流されない自立的な生きかたを説いて感銘を受けたと追想している。

主人公は旧制中学に通う15歳の本田潤一ことコベル君。父を亡くし、身辺の出来事を母の弟である法学士の叔父さんに語り、手紙で叔父さんが感想を伝える。テパートの屋上から眼下の人々を眺めた潤一は人間が水の分子のようで自分もそんな分子のひとつだと気づく。叔父さんは天動説から地動説への転換のように大きな発見だと感心し、彼をコベルニクス君＝コベル君と呼ぶようになる。

地球を宇宙の中心と見做した天動説は自己中心的な世界観の象徴だ。コベルニクスは地球も回転する惑星の一部だと考えて古代ローマ以来の虚構の権威を揺るがした。独善的な天動説か共生的な地動説かという選択肢はいつの時代でも存在するとわたしは思う。どう生きるかと問いかけてらるゝのは子供たちだけではないだろう。(高倉)

### 給排水・環境設備の総合誌

月刊「コア」第337号

平成29年12月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884